

『日本労働研究雑誌』 総目次

2025 年 1～12 月号 (No. 774～785)

(提 言)

「不適合」は嘆くものではなく、積極的に活用すべきもの…………… 伊丹 敬之 774

エンジニアリングとしての人事実践
…………… 中島 豊 776

労使コミュニケーションのためのストライキ？
…………… 野田 進 778

調査票情報の二次的利用の促進… 西郷 浩 779

社会保険を巡る使用者と従業員の負担
…………… 田中 秀明 780

小さく産んで大きく育てる…………… 安藤 史江 781

教育と職業の学際的研究…………… 小林 雅之 782

「同一労働同一賃金」への疑問 … 土田 道夫 783

警備業をめぐる法制度上の課題… 橋本 博之 784

3 種の公平性と人事管理 …………… 守島 基博 785

(論 文)

〈不適合の先にある成長と活力〉
組織で働く従業員と環境の不適合とは何か——P-E
fit/misfit 研究の現在地 …………… 山崎 京子 774

テクノロジーの進化が労働者にもたらす不確実性
——AI と DX の影響に関する一考察
…………… 松永 正樹 774

従業員によるウェルビーイング向上のための主体的
な取り組み——ワーク・デザイン理論からみる到達
点と展望…………… 横内 陳正 774

労働者のキャリア形成支援——キャリアカウンセリ
ングの政策的及び実践的意義と課題
…………… 古田 克利 774

企業は誰にどのような主体性を求めてきたのか——
人的資本経営への提言…………… 武藤 浩子 774

これからの「働くこと」とその支援について
——ワーキング心理学から働く人々の健康と安全
について考える…………… 五十嵐 敦 774

〈2024 年労働政策研究会議報告〉

〈パネルディスカッション●フリーランスの就業と
法〉

副業時間からみるフリーランスの就業条件——個人
年収の男女比較から…………… 仲 修平 775

フリーランサーはいかにして過密労働に対処してい
るのか——アニメーターの実践からみるフリーラ
ンス労働の持続可能性の確保… 松永伸太郎 775

連合によるフリーランス支援の取り組み
…………… 漆原 肇 775

フリーランスの自由と保護…………… 石田 信平 775

〈自由論題セッション●第 1 分科会〉
シニア社員の職域の広がりとその論理——製造業 K
社営業職の役職定年経験者の事例分析
…………… 久次米章彦 775

高齢社員（60 歳代前半層）の活用戦略の変化と賃金
制度——基本給の決め方に着目して
…………… 藤波 美帆・鹿生 治行 775

〈自由論題セッション●第 3 分科会〉
社会関係資本としての労働組合——出会いとボラン
ティア…………… 中村 天江 775

〈ストライキ〉
ストライキの現代的意義と課題——日本の歴史と実
態をふまえて…………… 禹 宗 杭 778

戦後日本におけるストと労使関係——石炭産業の事
例…………… 島西 智輝 778

ストライキと組合活動の経済学的考察——日本の労
働組合員の意識データを用いた実証分析
…………… 齋藤 隆志 778

ストライキと労働組合再生の道——アメリカを事例
として…………… 新川 敏光 778

フリーランスへの団結権保障は「集団的物乞い」の
承認で足りるか——EU における経緯と議論から
…………… 井川 志郎 778

〈公的統計データ利用の現状と課題——行政と研究者のコラボのために〉	
ユーザーから見た政府統計の二次的利用——評価と課題	森川 正之 779
統計作成者から見た日本の公的統計データの現状と課題	椿 広計 779
公的統計の作成における課題と対応	舟岡 史雄 779
自治体のデータ利活用と研究者とのコラボの現状と課題	児玉 直美・小原 美紀・佐野 晋平・森山 智彦 779
海外における公的大規模データの利活用の現状	伊藤 伸介 779
〈福利厚生意義を問い直す〉	
福利厚生の起源	榎 一江 780
社会保障における企業の役割と事業主負担——国際比較の視点から	伊藤 善典 780
人的資本経営時代における福利厚生の有効性	西久保浩二 780
リモートワーカーを福利厚生でどう支援するか	黒住 嶺・伊達 洋駆 780
使用者による福利厚生の配分と均衡待遇（不合理な待遇差の禁止）規範——労働法からみた福利厚生	本久 洋一 780
福利厚生施策としての確定拠出型年金の可能性——導入・移行・廃止とガバナンスを中心に	壁谷 順之 780
法定福利費の動向と課題——社会保険料の事業主負担の視点から	駒村 康平・丸山 桂 780
〈人事施策はいかに浸透するか〉	
働き方の創造的変革を実現するチーム・プロセスとコミュニケーション	山口 裕幸 781
メッセージの「伝え方」がもたらす心理的效果——フレーミングと制御適合からのアプローチ	林 洋一郎 781
ヘルスコミュニケーションの枠組みに基づく中小企業経営者に対する「治療と仕事の両立支援」の推進	島崎 崇史・山内 貴史・須賀 万智 781
「施策の浸透」は人事施策と業績の関係をどうつなぐのか？	江夏幾多郎・丸子 敬仁・穴田 貴大 781

サーバント・リーダーシップは持続できない？——SLの実践におけるリーダーの自己養生的アプローチについての探索的研究	鈴木 智気 781
人事関連施策を組織内実践するための変革アプローチ	一守 靖 781
〈労働研究における教育〉	
教育過剰研究の現状	北條 雅一 782
所得格差の世代間連関——教育の役割	赤林 英夫・直井 道生 782
専攻選択におけるジェンダーギャップ	井上ちひろ・高橋 裕希 782
大学全入時代における大学進学を考える	黒田 雄太 782
地域労働市場における人的資本の外部性	東 雄大 782
高等教育の費用負担における貸与奨学金の役割——資源と負債の観点から	古田 和久 782
タレントマネジメントにおける人材育成の位相と課題	柿沼 英樹 782
〈非正規雇用の現在〉	
統計からわかる非正規雇用の現在地	高橋 康二 783
正規・非正規雇用の健康格差——呼称と社会保険加入に注目して	小前 和智・茂木 洋之 783
雇止め法理における合理的期待と契約構造	篠原 信貴 783
有期雇用労働者の均等・均衡処遇規制の問題点と今後の課題	川田 知子 783
労働者派遣法——労働契約申込みみなし制度の効果と問題点	小宮 文人 783
雇用型労働プラットフォーム——マッチング、働き手の就業実態、そして政策課題	柴田 徹平・今井 順・申 在 烈 783
ジェンダー視点でとらえる公務非正規専門職の持続可能性	廣森 直子 783
〈警備の世界における労働問題〉	
警備員を取り巻く最近の労働事情と課題	田中 智仁 784
警備員の労働に関する法律上の諸問題	大石 玄 784
警備業——世界と日本の比較考察	遠藤 保雄 784

空港保安検査業務にかかる課題と新技術導入の可能性……………	手塚広一郎	784
〈賃金の現在地を探る——変わったのか、変わっていないのか?〉		
統計データから見る賃金の現状と賃金制度の変化……………	中井 雅之	785
日本企業の人事処遇制度における「職務」……………	鈴木 誠	785
正社員と非正社員の人事制度の比較分析——スーパー D 社における同一労働同一賃金への対応……………	前浦 穂高	785
役員と労働者の格差は広がったのか?……………	久保 克行	785
賃上げのためのお金はどこへ行ったのか?——労働分配率の低下とコーポレートガバナンス・技術変化の関係……………	荻島 駿・権 赫 旭・ 菅沼 健司	785
所得格差研究の現在地——世帯調査を中心とした分析……………	山田 知明	785
(論文要旨)		
〈2024 年労働政策研究会議報告〉		
〈自由論題セッション●第 1 分科会〉		
職場の性暴力の実態と経済的損失の推計——NHK 性暴力被害者調査からの分析……………	大沢真知子・林 直美	775
〈自由論題セッション●第 2 分科会〉		
総合職の専門性を探索する意識に関する研究……………	福島 直恵	775
在職者訓練が持つ企業が求めるスキルニーズの分析機能——基盤整備センターでのカリキュラム・モデル設計を事例として……………	霜永 智弘	775
〈自由論題セッション●第 3 分科会〉		
管理職層をめぐる組合員範囲の見直しに関する一考察……………	鈴木 誠	775
(紹介)		
〈不適合の先にある成長と活力〉		
日本における社内公募制度の現状と課題——3 社の企業事例に見る「募集」と「マッチング」……………	千野 翔平	774

〈公的統計データ利用の現状と課題——行政と研究者のコラボのために〉		
医療・健診データの科学分析の重要性と個人情報に依拠した公的データの研究の難しさ……………	土岐 博	779
(論文 (投稿))		
〈組織における人の管理の実態・背景・効果〉		
「働きがい」認定は株価を高めるのか——「働きがいのある会社」発表時のイベント・スタディ……………	本合 暁詩	776
戦略と HR 施策の間におけるブラックボックスの解明——中途採用における人材要件定義の先行要因に着目して……………	千葉 純平	776
(研究ノート (投稿))		
〈組織における人の管理の実態・背景・効果〉		
中核的自己評価がネットワーキング行動に及ぼす影響——日本企業の中高年社員を対象に……………	高橋 宏承・島貫 智行	776
* * *		
1947 年教育制度改革に伴う教育年数の延伸と就学率の変化……………	岡庭 英重・井深 陽子・ 丸山 士行	779
ドイツの「包摂的な労働市場の促進に関する法律」による障害者雇用の推進の動向……………	中井 亜弓・春名由一郎	781
新型コロナパンデミック下で雇用維持スキームの事業主負担が適用労働者数に与えた影響——ドイツ・フランス・イギリスの宿泊・飲食業についての考察……………	川瀬 健太	783
(エッセイ)		
〈その裏にある歴史〉		
〈法学〉		
なぜ労基法上の労働者と労組法上の労働者に違いがあるのか……………	鎌田 耕一	777
なぜ定年後に労働条件が切り下げられるのか……………	櫻庭 涼子	777
なぜ労働者派遣が労働者供給と区別されて合法化されたのか……………	本庄 淳志	777

〈経済学〉

なぜ国が休業者に助成を行うのか

…………… 佐々木 勝 777

なぜ初任給はほぼ横並びなのか… 上野 有子 777

なぜ企業は従業員的人的資本に投資すべきか

…………… 小野 浩 777

〈労使関係〉

なぜ企業別組合が主流になったのか

…………… 呉 学 殊 777

なぜ多くの企業が同時期に賃上げ交渉をおこなうのか…………… 李 旼 珍 777

なぜ公労使で労働立法をつくるのか

…………… 濱口桂一郎 777

〈経営学〉

なぜ属人給が残り続けているのか

…………… 金子 良事 777

なぜ企業が労働者の安全や健康に配慮するのか

…………… 堀江 正知 777

なぜ人事部は多くの権限を有するのか

…………… 青木 宏之 777

〈社会学・心理学・教育学〉

なぜ日本の労働者は長時間残業するのか

…………… 田中 洋子 777

なぜ日本の大企業では新卒一括採用がおこなわれているのか…………… 大島 真夫 777

なぜ学校が職業紹介をできるのか

…………… 濱中 義隆 777

(学界展望)

労働調査研究の現在——2022～24年の業績を通じて

…………… 松本 雄一・禿 あや美・
竹ノ下弘久・山下 充 776

(ディアローグ)

労働判例この1年の争点

…………… 神吉知郁子・富永 晃一 784

(座談会)

〈賃金の現在地を探る——変わったのか、変わっていないのか?〉

賃金管理の現状と課題…………… 佐野 晋平・
西村 純・労働組合役員3名 785

(インタビュー)

〈ストライキ〉

企業の組織再編と労働運動——そごう・西武労働組合のストライキをめぐる

…………… 寺岡 泰博・西嶋 秀樹・首藤 若菜・
西村 純・鈴木 恭子 778

(書 評)

内村慶士 著『仕事からの切り替え困難に対する心理的支援——持続可能な働き方の実現のために』…………… 高橋 浩 774

和田肇 著『労働政策立法学の構想』

…………… 金井 幸子 776

永瀬伸子 著『日本の女性のキャリア形成と家族——雇用慣行・賃金格差・出産子育て』

…………… 井上ちひろ 776

西村和雄・八木匡 編著『学力と幸福の経済学』

…………… 山村 英司 778

江夏幾多郎・田中秀樹・余合淳 著『人事管理のリサーチ・プラクティス・ギャップ——日本における関心の分化と架橋』…………… 今野浩一郎 779

中村二郎・小川誠 著『賃上げ成長論の落とし穴』

…………… 鶴 光太郎 780

佐野晋平 著『教育投資の経済学』

…………… 島 一則 780

柳屋孝安 著『企業内福利厚生をめぐる労働法上の課題——日独比較法研究』…………… 成田 史子 781
濱口桂一郎 著『賃金とは何か——職務給の蹉跌と所属給の呪縛』…………… 中林 真幸 782

西畑佳奈 著『イギリス労働関連法制の履行確保

——歴史的変遷と行政機関の役割』

…………… 藤井 直子 782

片山悠樹 編著『就「社」社会で就「職」する若者たち——専門学校生の初期キャリア』

…………… 植上 一希 783

志水深雪(龔敏) 著『雇用契約における明示条項と黙示条項』…………… 有田 謙司 785

(読書ノート)

阿部誠 編著『就労支援政策にみる福祉国家の変容——7カ国の分析による国際的動向の把握』

…………… 中村 健吾 774

児美川孝一郎 著『新自由主義教育の40年——「生き方コントロール」の未来形』… 室山 晴美	776
大橋重子 著『個人と組織の心理的距離——距離をとる行動のバリエーションと影響』	778
…………… 林 祥平	778
経済協力開発機構（OECD）編著／是川夕・江場日菜子 訳『日本の移住労働者——OECD 労働移民政策レビュー：日本』…………… 井口 泰	778
禹宗杭・沼尻晃伸 著『〈一人前〉と戦後社会——対等を求めて』…………… 富田 義典	783
松本典子 著『労働者協同組合とは何か——連帯経済とコモンを生み出す協同組合』	784
…………… 小島 明子	784
藤崎麻里 著『なぜ今、労働組合なのか——働く場所を整えるために必要なこと』… 篠田 徹	784
(論文 Today)	
どうすればワーク・エンゲージメントが高まるか？——他者（対自己）志向的意義介入は、仕事の有意義性の変化を通じて、状態的ワーク・エンゲージメントを向上させる…………… 劉 文静	774
ナレッジ・マネジメントの実践における探索と深化が個人のパフォーマンスとエンパワーメントに与える影響…………… 吉楽ひかる	776
労働市場における男女間格差は仕事への応募段階から始まるのか？…………… 張 楚	777
HRM はキャリア自律と職務行動の関係に影響を与えるのか？…………… 斉藤 航平	778
労働力不足——労使関係のゲームチェンジャーか？…………… 本田 恒平	779
身体障害と労働市場における差別——動画付き履歴書を使用したフィールド実験… 吉良 光冬	780
ジェンダーに関する制度的不平等の新たなベクトル——採用におけるアルゴリズム差別…………… 岩堀 佳菜	781
トルコにおける教育現場の児童性的虐待報告行動に関する研究——計画的行動理論に基づく教員の報告態度の分析…………… 緒方万里子	782
留学生はSTEM 分野の労働供給をどう変化させたのか？——大学の行政データを用いた効果検証…………… ルオン・アンユン	783
学校、勉強、知性——80 年間のアメリカ印刷メディ	

アを通じた、教育領域のジェンダーステレオタイプの変遷 1930～2009 年…………… 森川ゆり子	784
多国籍企業の選択——海外での現地採用か、自国内での移民雇用か…………… 楊 亜蝶	785

(フィールド・アイ)	
自動車産業と生え抜き女性社員（米国から②）…………… 寺村絵里子	774
サステナブルな地方暮らしと格差（米国から③）…………… 寺村絵里子	776
多民族国家、その転換期？（ライデンから①）…………… 有泉 明	777
「自転車大国」、自転車抜きで（ライデンから②）…………… 有泉 明	778
「フレキシブル・ワーク先進国」の今（ライデンから③）…………… 有泉 明	779
日本人研究者がみたベトナム（ベトナムから①）…………… 服部 泰宏	780
「アメリカ的なもの」の奔流の中で（ベトナムから②）…………… 服部 泰宏	781
アジア的な感性を手がかりに世界を眺める（ベトナムから③）…………… 服部 泰宏	782
研究も暮らしも、人がいてこそ（ヘルシンキから①）…………… 麓 仁美	783
暮らしとともにある働き方（ヘルシンキから②）…………… 麓 仁美	784
安心のかたち、信頼の重み（ヘルシンキから③）…………… 麓 仁美	785

(発 表)	
第 48 回（令和 7 年度）労働関係図書優秀賞 …	785
第 26 回（令和 7 年度）労働関係論文優秀賞 …	785